

第 1 号議案

# 並行在来線経営計画(案)

～経営委員会における検討結果～

平成22年7月20日

新潟県並行在来線開業準備協議会

# 目次

<b>I. 並行在来線とは</b> .....	<b>1</b>
1. 並行在来線って何のこと？ .....	1
2. どんな目的で利用されているの？ .....	2
3. 並行在来線はどんな役割を担っているの？ .....	3
(1)日常生活を支える交通手段です .....	3
(2)全国的な物流ネットワークの一翼を担っています .....	3
(3)広域的な交流ネットワークの形成に役立っています .....	4
(4)鉄道の優れた特性によって、地域に様々な貢献をしています .....	4
<b>II. 新潟県の並行在来線の3つの特徴</b> .....	<b>5</b>
1. 特徴1 .....	5
○隣接他県の沿線地域に比べ人口規模が小さい地域です .....	5
2. 特徴2 .....	7
○性格の異なる2つの路線(北陸本線と信越本線)を抱えています .....	7
3. 特徴3 .....	7
○2つの路線それぞれで現在運行している会社が異なります .....	7
<b>III. 並行在来線は存続・維持が必要</b> .....	<b>8</b>
<b>IV. みんなで支えます</b> .....	<b>9</b>
1. 並行在来線を運営する鉄道会社を設立します .....	9
2. 経営会社のあるべき姿 .....	9
(1)地域と共に歩む公共交通機関 .....	9
(2)地域の暮らしと経済を支える公共交通機関 .....	9
(3)安全性と健全経営 .....	9
3. 経営区間 .....	10
4. 会社の基本的な経営スタイル .....	10
(1)単独経営 .....	10
(2)上下一体方式 .....	11
(3)現状の線路形態を維持 .....	11
5. 経営会社の設立時期 .....	12
6. 営業開始時期(見込み) .....	12
<b>V. 事業の方向性</b> .....	<b>13</b>
1. 運行 .....	14
(1)普通列車の運行本数 .....	14
(2)相互直通運転 .....	14
(3)JRの優等列車(特急・快速列車)の存続 .....	14

2. 車両	15
(1)必要となる車両数	15
(2)列車の動力(電車の継続かディーゼル車の導入か)	16
(3)車両の調達	16
3. 施設	17
(1)拠点施設などの整備	17
①本社	17
②設備基地	18
③運輸基地	18
④指令センター(指令システム)	18
(2)その他の施設・設備の取扱い	19
①デッドセクションの取扱い	19
②新駅の設置	19
4. 要員	20
(1)要員数	20
(2)組織体制(想定)	20
(3)要員の確保及び育成	21
①開業前～開業時	21
②開業後	21
5. 投資・損益	22
6. 資金	24
(1)資本金	24
①総額	24
②出資予定者	24
③出資比率・出資金額	25
(2)投資に係る基本的な考え方	26
(3)毎年の赤字への対応	26
①更なる経費節減と多角経営の検討による収支改善努力	26
②国への要望	26
<b>VI. 利用促進</b>	<b>28</b>
1. 利用促進に向けた取組の方向性	28
(1)鉄道を利用したまちづくり	28
(2)鉄道を愛し支える人づくり	28
(3)魅力的なまちづくり	28
(4)利用しやすい鉄道づくり	28
2. 利用促進計画推進に向けた体制づくり	29
<b>VII. 維持・存続のための取組</b>	<b>30</b>
1. 関係者会議の開催	30
2. 経営情報の適切な発信(広報活動)	30
<b>参考1</b>	<b>31</b>
<b>参考2</b>	<b>32</b>